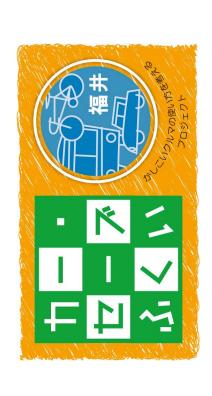
ケートに難り過ぎない社会しくり (熱製版)



平成23年10月

雛 クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会

クルマに頼り過ぎない社会づくりアクションプラン

◆基本方針

CSRでクルマに置り過ぎない社会が入り

クルマに頼り過ぎない社会実現のためには、県民一人ひとりの行動が必要です。そのため、県民や企業にも社会的 責任として運動に参加してもらいたいという意味をこめ、CSRを県民運動のキーワードとしました ※CSRは、Citizen・Corporate Social Responsibility(県民、企業の社会的責任)の略

◆計画期間

◆策定主体

平成23年度~平成26年度

クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議

●福雅存胀

CSRでクルマに頼り過ぎない社会づくり

【施策の3本柱】

【基本施策】

... 不必要な利用を見直し Cut

新たな相乗りシステムの導入、共同購買の推進

「自転車で3km」運動の推進、公共交通の利便性向上、カー・セーブ運動の拡大

… クルマは皆でつかう Share

新時代にふさわしい社会 Redesign

クルマ依存の県民意識の改革、スポーツバイクの利用推進

自転車利用で短距離のクルマ利用を抑制

自転車で3キロ運動の推進

〇福井バイコロジスト宣言の推進

- ・県内の自転車ブームを先導する福井バイコロジストを募集、ツイッター等での情報発信を拡大
- 〇エリア全体で最適な道路空間の再配分を実施
- ・地域ぐるみで自転車等の推奨ルートづくり、推奨ルートへの誘導策、交通規制等の安全対策を実施

〇乗捨て型レンタサイクルの導入

・ビジネスや観光、買物等での自転車利用を促進

公共交通の利用機会の拡大

公共交通の利便性向上

〇公共交通機関のネットワーク化

・幹線バス路線の高頻度運行、乗りやすい運賃水準を実現、乗継拠点の整備により基幹路線とフィーダー路線をネットワーク化

〇利用者目線の情報提供の改善

・マイ時刻表や路線案内の工夫等により、利用者に分かりやすい情報提供を実施

〇行政職員の率先利用

・通勤や公務での率先した公共交通利用を徹底、公共交通利用を前提とした会議やイベントの時間、場所を設定

カー・セーブ運動の拡大

〇カー・セーブ推進月間の実施

・強化月間の設定と県民フォーラムの開催

OPRや支援強化による企業の取組みを強化

・電車内や駅等での参加企業のPR掲載、社員のカー・セーブ運動参加を支援する企業を拡大

〇参加者への特典サービス等を実施

協賛店舗による割引サービス等を実施

【県民、企業の行動指針】

- ・福井バイコロジスト宣言に参加し、 自転車を積極的に使いましょう! ・自転車の推奨コースでは、自転車
 - ・自転車の推奨コースでは、自転車 を優先して利用しましょう!

【県民、企業の行動指針】

- ・通勤や外出などで公共交通を積極的に利用しましょう!
 - ・カー・セーブ運動に参加しましょう!

共同利用で一人一台のクルマ利用を抑制

新たな相乗りシステムの導入

〇カーシェアリングの導入

・安易なクルマ利用を抑制するためカーシェアリングを導入、福井型カーシェア事業モデルを検証し全県への普及を推進

〇企業の相乗り通勤の推進

・社有車相乗り通勤、共同送迎等の導入を推進

〇集落輸送システムの推進

・自治会等による輸送活動を中山間地域等へ導入

・カーシェアを利用し、かしこいクルマ

【県民、企業の行動指針】

家族などでは相乗りをしましょう

の使い方を実践しましょう

共同購買の推進

〇移動販売の拡大実施

・取扱品目等の拡大により、利便性を向上

クルマ依存の生活スタイルを見直し

クルマ依存の県民意識の改革

〇カー・セーブ・モデルタウンの導入

・"スマートなクルマの使い方"を実証地域で実践、大学等と連携した講習会等を開催

〇まちのリデザインの推進

・県都市計画区域マスタープランを改訂(コンパクトシティの推進と広報強化)

〇生活スタイルの見直し

・都会並みの「歩く」習慣の普及により健康ライフを推進

スポーツバイクの利用推進

〇スポーツバイクの利用環境を充実

・スポーツバイク等の多様なレンタサイクルを導入、サイクリングロードの周遊ネットワーク化を推進、ポータルサイトを開設

〇スポーツバイクの観光利用を推進

・全国ブランドのサイクリングイベントを開催、自転車観光を推進

【県民、企業の行動指針】

- ・クルマに依存した生活スタイルを 見直しましょう!
- 見直しましょう! ・歩いたり、自転車に乗って、健康な 生活を送りましょう!